

食物アレルギーへの緊急時対応 体験型出前セミナー

クリニカル・スキルスラボでは宮城県内の保育・教育施設を対象とした『食物アレルギーへの緊急時対応体験型出前セミナー』を企画しており、2025年度は33施設（保育施設18、児童館7、小学校5、中学校1、支援学校2）で開催しました。東北地区小児アレルギーケア研究会に講師派遣を依頼し、小児アレルギーエデュケーターの資格を持つ看護師・管理栄養士の方々に講師を務めていただきました。

食物アレルギーがある子供の数は増加傾向にあり、保育施設や学校、放課後児童クラブ等で勤務する職員は、食物アレルギーについて正しく理解し、緊急時にはその場に居合わせた職員がチームとなり迅速に対応することが求められます。そのような背景から、セミナーの内容は食物アレルギーに関する講義とエピペン®トレーナーを用いた演習、緊急時対応の動画鑑賞、デモンストレーションで構成され、初めての方でも段階的に学習することができます。

講義では、講師が作成した資料や動画教材を用い、食物アレルギー発症の仕組みや種類について基礎的な理解を図るとともに、緊急時対応マニュアルに基づき、症状の観察方法および症状に応じた適切な対応について学習しました。

演習では、エピペン®トレーナーを使いエピペン®の使用方法と手順について確認しました。最後に実施するデモンストレーションでは、参加者の中から6名が役割（児童役、発見者、準備係、管理者、連絡係、記録係）を分担し、食物アレルギー症状が出現した場面を想定した対応訓練を実施しました。参加者からは役割分担の重要性を感じました。緊急時にはそれぞれの役割を迅速かつ確実に行うことができるよう、これからも定期的に施設内でシミュレーション研修を実施していきたいと思いました。といった反響がありました。

